

3年

、下線…学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動

…感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
七 書写を生かそう ◆今までに学習したことを振り返ろう 「心のふれ合い」「全力を尽くす」 (P81-85) ◎[知識及び技能](3)エ(ア) ○二年生までに学習した書き方を復習する。	3	1	○一年生と二年生で学習した楷書と行書、それぞれに調和する平仮名の特徴を確認して、「心のふれ合い」、「全力を尽くす」のいずれかを選んで書き、自己の課題を確認する。	【関】一年生と二年生で学習した楷書と行書、それぞれに調和する平仮名の特徴を意欲的に生かそうとしている。 【知】一年生と二年生で学習した楷書と行書、それぞれに調和する平仮名の特徴を理解している。 【技】これまでに学習したことを理解して書けている。
		1	○自己の課題を確認して、練習する。	
		1	○学習したことを確認して、まとめ書きをする。	
◆書写を生活に生かそう (P86-93) ◎[知識及び技能](3)エ(ア) ○書写の学習で身につけた知識や技能を、学校や日常生活の中に生かして文字を書く。	2	1	○学校や日常生活の中で扱うものの書き方を確認し、場面に応じて筆記具や書体を変えて書く必要があることを確認する。	【関】これまでに学習したことを生かし、書体や筆記具を選んで書くことに意欲的に取り組んでいる。【知】日常生活や学校生活の場面に応じて書体や筆記具を選ぶことが重要であることを理解している。 【技】これまでに学習したことを生かし、書体や筆記具を選んで書けている。
		1	○学校行事や他教科の授業をもとに、目的に応じて色々な筆記具や書体の書き方を練習する。	
◆作品を作ろう (P94-95) ◎[知識及び技能](3)エ(ア) ○多様な文字文化に興味をもち、表現効果を考えながら作品を作る。	3	3	○楷書のいろいろな書き方や、書き文字と活字の違いを知る。 ○作品の文字の表現効果や、作品の飾り方などを学ぶ。 ○文字、書体、筆記具、飾り方を決めて半紙で練習し、工夫のしかたを考える。 ○作品を完成させる。	【関】文字の表現効果に興味をもっている。 【関】これまでの学習を生かし、書体や筆記具の表現効果考えた作品作りに意欲的に取り組んでいる。 【知】書体や筆記具による表現効果を考えることが重要であることを理解している。 【技】文字の表現効果を考えながら、書体や筆記具を選んで書けている。
◆書き初めをしよう「大志を抱け」「旅立ちの春」 (P101-108) ○学習したことを生かして書き初めをする。	2	1	○手本を選び、該当する書字のポイントを確認して、半紙を使って練習する。 ○文字の大きさや配置・配列、前時までの自己の課題を確認して練習する。	【関】これまでに学習した楷書と行書、それぞれに調和する平仮名の特徴を意欲的に生かそうとしている。 【知】これまでに学習した楷書と行書、それぞれに調和する平仮名の特徴を理解している。 【技】一年間で学習したことを理解して書けている。
		1	○学習したことを意識しながら、清書をする。	
資料編 ◆楷書のいろいろな書き方 ◆書き文字と活字 ◆漢字一覧表(行書) (P111-表紙裏) ◎[知識及び技能](3)エ(ア) ○文字や書体に関連する法則などに興味をもつ。	適宜	適宜	○漢字の書き方が一部異なっても誤りにならないという許容の例を学ぶ。 ○書き文字と活字の違いを知り、多様な文字への関心を深める。 ○常用漢字二一三六字の行書の書体を確かめる。	【関】文字や書体に関連する法則などに興味をもっている。